

まぼろしの詩あしたの詩



日本作詩家協会年刊詩謡集

1979年版

友の詩あしらの詩

日本作詩家協会年刊詩謡集

1979年版

序 文

年刊詩謡集「きよりの詩あしたの詩」も記念すべき第十巻が発行されるはこびとなったことを、まづ会員諸君とともに、嬉びあいたいと思います。

ふりかえれば、十年一昔とは云え、年刊詩謡集が果してきた功績は今更言をまつまでもありませんが、特に本年は日本作詩大賞のNHKテレビによる生放送と云う飛躍的価値づけによって、一層その意義が付加されました。

つまり従来の特典賞を更に拡大した新人賞の部門は、同人誌とこの詩謡集を中心に選考されることになっております。

言葉を換えれば、本年から作詩大賞とこの詩謡集とは完全に結びあつて、会員諸君の夢が大きく実現し具体化されることになったのです。

なお私事で恐縮ですが、このような時期にやや体調をくずし皆さんの推進力になれなかったことは残念ですが、どうか皆さん、この詩謡集を基盤として、輝かしい明日へ筆を進めて下さい。

昭和五十三年十一月十二日

藤 浦 洸

もくじ

序文	藤浦	洸	一
からたちの愛	アベ・イチロー		六
母さんみてくれ	あかはた	元康	九
こぬか雨降る	吾妻	かおる	二〇
夢見草	阿久津	隼人	二二
人生の道	愛	行子	二三
指輪の置手紙	相川	光夫	二五
北国の裏町通り	青木	三郎	二六
寝むれナイト	秋田	泰治	二七
お前がいたから	浅野	哲秋	二八
ふるさとの町は水色	芦田	茂	二七
長良川旅情	飛鳥井	芳朗	二六
親父	鮎川	公正	二八
ふたり舟	荒川	利夫	二〇
寝顔	荒木	忠雄	二二

うそつき	有田	多賀子	三
天使は風の中	淡島	千佳夫	三
射程距離	いしだ	みよこ	三
こがれ舟	いとう	恵みこ	三
いけないよ	いとお	まゆみ	三
潮来川慕情	いばら	城	三
冬のみつばち	井上	信子	三
嗟 峨野舞	井田	誠一	三
ふるさとよ	井原	宏光	三
さるすべりの花	五十川	式部	三
芸道一途	飯塚	義美	三
やっぱり淋しい	ひとり	文絵	三
盛り場流転	息吹	詩郎	三
成田国際空港	池上	信	三
化粧坂	池田	充男	三
風ぐるま	石	一十	三
過 去	石川	泰久	三
三 年 坂	石本	美由起	三
男の旅路	磯辺	貝	三
東京二人ぼっち	一乗	蘭	三
小さな駅で	市川	武志	三
トントン二階にある酒場	茨	つとむ	三
女の哀歌	岩崎	吉太郎	三

思いやり……………	岩瀬	ひろし……………	壺
あたしはどこへ……………	宇都木	正次……………	罍
痴話げんか……………	宇山	清太郎……………	毛
長良の夜……………	植田	竹雄……………	甕
まぼろしの酒……………	白井	ひさし……………	甕
コスモスの涙……………	詩	和峯……………	罍
やっと大人に……………	宴	ゆり……………	罍
私のルパン……………	海原	光……………	罍
もどり旅……………	梅田	幸三……………	罍
足踏み……………	江口	洸慧……………	罍
片瀬灯り……………	江島	景子……………	罍
あばよだよ……………	海老沢	孝一……………	罍
悔心鳥……………	オマタ	ハチロウ……………	罍
片町純情……………	おいだ・みのと……………		罍
指名手配……………	おち	としこ……………	罍
春帰行……………	小川	淳……………	罍
男のうしろ姿……………	小川	比富美……………	罍
あてのない旅……………	小川内	のりを……………	罍
こころの季節……………	小野	津加佐……………	罍
女の流転……………	及川	はじめ……………	罍
夜の博多人形……………	大久保	正弘……………	罍
カラオケ仁義……………	大澤	陽央……………	罍
女の二十五時……………	大月	流……………	罍

海の果てのあなたに	大野	卓	六
愛のトレイン	大橋	哲郎	七
露草の唄	大森	富士子	八
大切なもの	大屋	哲夫	九
夜明けの女	岡野	極	一〇
君とならば	岡本	和子	一一
今夜は泣きたい	萩原	秀夫	一二
因果因果で	帯谷	瑛之介	一三
ライト・ブラウンの季節	表	八千代	一四
夜風ひとり	折井	一光	一五
女ぎりぎり	折戸	勝史	一六
西の京慕情	かわうち	登	一七
傘をまわして	加藤	完二	一八
逃げないで	加藤	忍	一九
二十才のフェリー	加藤	正恭	二〇
つらよごし	甲斐	新	二一
何が何して何んとやら	春日	利水	二二
文句なしの天才	角海	夜詩次	二三
幻恋の譜	門井	八郎	二四
哀しきスナップ写真	金子	知司	二五
グッバイ・ガール	叶山	奏	二六
たまには聞いてもらいたい	神山	清志	二七
運命線	刈谷	西都夫	二八

港春風風車	川合	秀夫	101
海峽酒場	河井	哲治	103
海沿いの町	木立	雄幸	103
おちこぼれた青い果実	木谷	鴻治	104
山口観光踊り	岐多川	純	105
青春挽歌	菊地	英夫	106
ボルト	北村	直之	107
晩秋	クボタ	ハチゾウ	108
孤独と虚無と絶望に	くぼた	ぼく	109
お前と二人で	工藤	りつお	110
ママノ僕のそばにいて	熊谷	孝雄	112
白いラブレター	栗沢	涼	113
十二支数え唄	黒白	ミノル	113
札幌ひとり	剣	あざみ	114
やすらぎの花	こばやし	克至	115
ハマナスの想い出	小池	虎夫	116
帰らなくちゃいけないけれど	小池	美津子	117
みれん酒	小島	高志	118
ニキビと私	小高	勝義	119
神戸からの手紙	小谷	健一	120
一握の砂	小林	金次郎	123
落日	小林	すみ江	123
からまわり	小林	すみ子	123

かみしめた前歯をぬけて……………	小林	正広……………	二四
空 だ の み……………	古頃	正章……………	二五
愛ある別れ……………	古神子	民雄……………	二六
愛のオウム返し……………	越砂	温夫……………	二七
道産子育ち……………	越野	みのる……………	二八
津軽じょんがら恋歌……………	サトウ	幸史……………	二九
花 づ くり……………	さとう・いくこ……………		三〇
冬の火花……………	さとの	深花……………	三一
おふくろ思い出……………	佐久間	常夫……………	三三
子犬の二人……………	佐東	たどる……………	三三
やりなおし……………	佐藤	進……………	三四
湖上のパーティー……………	佐藤	木章……………	三五
海 岸 線……………	佐藤	正美……………	三六
野 菊……………	佐野	和子……………	三七
や け 酒……………	斎藤	卓……………	三八
恋 の 再 開……………	阪口	ふみし……………	三九
温泉海岸通り……………	堺	ナオコ……………	四〇
気 ま ぐ れ……………	榊原	康司……………	四一
恋 は 幻……………	咲山	道雄……………	四二
母を捜して……………	鷲森	英一……………	四三
おもかげ挽歌……………	里村	龍一……………	四四
牛を引く少年……………	四賀	郷子……………	四五
カトレア・ブルース……………	志賀	大介……………	四六

海鳥たちの唄……………	志摩	勝也……………	一四七
パリから愛をこめて……………	志摩	美之……………	一四八
忘却の旅路……………	紫藤	孝……………	一四九
津軽よさをひく女……………	鹿野	里美……………	一五〇
疎外東京 ド真中……………	忍	一步生……………	一五一
海峽の恋……………	篠田	定吉……………	一五三
純愛……………	柴田	かずゆき……………	一五三
潮来慕情……………	柴田	よしかず……………	一五五
春の便り……………	波澤	登麿……………	一五五
愛のたそがれ……………	島本	富美子……………	一五五
手拍子音頭……………	周東	敬二……………	一五七
木犀の香り……………	白土	やすじ……………	一五八
ドライタウン……………	白水	かおる……………	一五九
京の女……………	真原	靖典……………	一六〇
新宿・恋ばなし……………	新條	カオル……………	一六一
秋の終りに……………	新谷	政浩……………	一六二
北越路の女……………	新保	治平……………	一六三
逢いたくて……………	眇田	栄一……………	一六四
おりょう恋唄……………	鈴木	昭一……………	一六五
夜だけ流れる川がある……………	鈴木	哲郎……………	一六六
ノックなき足音……………	鈴木	みつぐ……………	一六七
石段……………	鈴木	宗敏……………	一六八
昭和流れ唄……………	鈴木	夜詩夫……………	一六九

女	坂	砂見	爽	一七
うれのこる	関崎	朝輝	一七	一七
出世払ひ	関沢	新一	一七	一七
一匹狼の詩	相馬	詩彦	一七	一七
ホステス演歌	相馬	日照	一七	一七
十代夫婦	たかぎ	かずお	一七	一七
もがり笛の子守唄	たなか	ゆきを	一七	一七
私の涙も泣きました	田中	凡夫	一七	一七
底冷えの街	田畑	しげき	一七	一七
恋ばなし	田村	和男	一七	一七
三文演歌	田村	忠雄	一七	一七
母の涙唄	田村	みどり	一七	一七
愛は糸雲のように	泰	晃平	一七	一七
凍土帯(ツンドラ)	高上	あゆむ	一七	一七
真夜中	高瀬	臣子	一七	一七
昔話	高月	ことば	一七	一七
あなたへの讃歌	高野	礼子	一七	一七
北の半島霧多布	高橋	直人	一七	一七
あなたは風	高畑	和之	一七	一七
今の私	滝	文雄	一七	一七
岬町へ来て見ませんか	谷川	まさる	一七	一七
雀色	谷田	草路	一七	一七
雄冬岬	玉木	一史	一七	一七

ネオン子守唄	千葉	幸雄	一五三
セクシーブルー	張	玉蘭	一五四
原宿ストリート	塚谷	清一	一五五
薔薇海峡	対馬	慎一郎	一五六
ふるさとは遠い日	土屋	正敬	一五七
寝顔	寺井	現代	一五八
ひとりごと	寺澤	秋穂	一五九
リンゴっ娘	天龍	掬雪	一六〇
夢占い	戸成	ふさ栄	一六一
かわりたかった昔の由紀から	都城	光	一六二
みちのく哀歌	遠山	哲哉	一六三
愛の小舟	轟	路也	一六四
悲恋	富山	紫峰	一六五
立秋	富田	清吾	一六六
お墓まいり	豊沢	正義	一六七
木の葉舟	豊原	史丈	一六八
やまびこ仲間	鳥羽	貞子	一六九
心の師	なかにし	あきら	一七〇
下北半島恐山	中川	連	一七一
一緒の春	中島	清一	一七二
兄妹春秋	中野	惣太郎	一七三
ジャスト・モウマント	中野	芙美世	一七四
太陽は波の上	中村	霞一	一七五

お別れですな	中山	大三郎	二六
悲しきロザリオ	中山	二夫	二七
ひとりでいると	夏	洋	二八
夢二絵すがた	成瀬	左千夫	二九
青 春 星	楠里	暁生	三〇
気まぐれ小唄	仁木	としこ	三三
嵯峨路の人	仁礼	美智雄	三三
酒場のともしび	西川	孝雄	三三
櫛	西沢	爽	三四
愛の 0 番地	根岸	一男	三五
女ひとりの東京は	のま	たくま	三六
ああ懐しい古い顔	能勢	英男	三七
あしたを求めて	野村	陽子	三八
ふたりぼっちの私と私	はせべ	ゆり	三九
古里の高原	はぜやま	清美	三〇
部屋の灯りを消しましょう	はやし	しげる	三三
忍 ぶ 橋	長谷川	洋	三三
港の女物語	服部	迪郎	三三
豊年万作囃子	英	玲二	三四
恋は鬼ごっこ	原	牧江	三五
愛のかげり	原	由記	三六
わたしは女一人旅	伴在	主計	三七
想 い 川	坂東	昇	三六

千鳥城	平井健一	二五九
雨の朝東京を発つ	平川正義	二六〇
恋のかくれんぼ	平山忠夫	二六一
白衣の愛の花	広里多美	二六二
早春記	ふかまちじゅん	二六三
あれは風の木	ふくだみのる	二六四
女雨情	ふじとたかし	二六五
巨峰狩り	傳祖恭	二六六
女の汽車	深瀬和雄	二六七
千燈籠流し	藤原逸露	二六八
君は乙女座	藤間哲郎	二六九
友	藤本良公	二七〇
夢供養	藤森宮子	二七一
春のセイター	文月豊	二七二
昭和嘆き節	古野哲也	二七三
ふるさとの雲	北條新太	二七四
いで湯の里は山の里	星秀和	二七五
よこはまたずねびと	星合節子	二七六
葉隠心中	星河流	二七七
柳橋物語	星野哲郎	二七八
運命に死にたい	細川憲哉	二七九
おぢいさんは若くなる	細川雄太郎	二八〇
花と緑で	本間繁義	二八一

好き好き東京……………	真弓田	幸一……………	二六三
未練に泣く……………	前田	利茂……………	二六三
花は溺れる……………	牧	房雄……………	二六四
涙の瓶づめ……………	益田	清……………	二六五
津軽絶唱……………	増子	善典……………	二六六
この道抜けられます……………	松井	由利夫……………	二六七
心のベンチ……………	松居	宏……………	二六八
ともだちの唄……………	松尾	ゆきを……………	二六九
奪いきれない愛なのに……………	松崎	暎子……………	二七〇
野菊の詩……………	松平	史紀……………	二七一
最上川……………	松平	八朗……………	二七三
裏切り……………	松本	撰子……………	二七三
おんな雨……………	松本	信夫……………	二七四
ああふるさと……………	松山	幸二……………	二七五
故郷が泣いた……………	三浦	康照……………	二七六
愛することは生きること……………	三上	博司……………	二七七
ひとり暮しクラクラ……………	三谷	ケイ……………	二七八
燃子と呼んだ女から……………	三益	武司……………	二七九
白足袋哀歌……………	三宅	立美……………	二八〇
後悔……………	岬	二郎……………	二八一
一葉日記……………	水上	幸子……………	二八三
彼岸中日秋びより……………	水野	甚太郎……………	二八三
法悦のケーキの冠……………	水野	徳好……………	二八四

ぼくとあたしのプレゼント	南	さとる	二六五
眠りつくまで	南	早苗	二六六
熱海湯の街みぞれ街	南	由紀	二六七
男の未練ギター	峰	よしを	二六八
九月の恋	宮田	隆	二六九
まあるいしあわせ今ここに	むらやま	たけし	二七〇
ひとりぼっちの寺参り	村上	文恵	二七一
女王陛下のおなり	村田	さち子	二七二
くやし涙	村田	安広	二七三
北海岸	室屋	安美	二七四
女Aのブルース	室山	多香史	二七五
青春のフィナーレは	明以	育子	二七六
東京ブラブラ	持田	三郎	二七七
こんな女が身を寄せる東京	百瀬	淑子	二七八
あな た	森	きよみ	二九九
無色の部屋	やました	しん	三〇〇
北の小駅	やまだ	りゅう	三〇一
風笛にあゝ	柳	英二	三〇二
男と女	山門	芳馨	三〇三
哀愁の町金沢	山上	雅人	三〇四
少年よ	山上	路夫	三〇五
六本木ものがたり	山北	由希夫	三〇六
いちばん星	山口	勝子	三〇七

未 来 星	山口	純	三〇八
ブルーレインの降る街	山田	晃義	三〇九
中年 哀 歌	山中	まり	三一〇
ぼくの赤ちゃん	山本	哲生	三一一
涙 顔	湯浅	としあき	三一二
燕が帰る日	雪野	斗詩夫	三一三
旧 友	横井	弘	三一四
噫々……あんた	吉田	旺	三一五
めざめれば秋	米沢	誠造	三一六
あの日の新宿	礼	恭司	三一七
ちゃんと名前があるのにネ	わたべ	まちこ	三一八
初山滋の世界	若山	かほる	三一九
愛の不在	渡辺	治	三二〇
湯沢湯の街	渡辺	和於	三二一
翔べない石やきいも	渡辺	千楨	三二二
別れの言い草	渡辺	久士	三二三
ありがとう	石本	美由起	三二五

題字 西沢 爽
表紙 荒船利雄